

令和 6 年度・臨床見学実習 I 評価表

北海道千歳リハビリテーション大学

実習施設名			
作業療法学専攻	学籍番号		学生氏名
実習期間	開始 令和 6 年 月 日 () 終了 令和 6 年 月 日 () 日間		

1 臨床見学実習 I の総合所見 ※下枠内に収まる文字数での記載をお願いいたします。

総合所見	(学生の成長した点, 今後の実習や学習への課題などを記載してください)
	実習指導者名:

2 作業療法士(学生)としての資質・適性の評価 ※当てはまるセルを「○」で囲んでください。

項目		基準			
		十分	概ね十分	ボーダーライン	基準未到達
1	実習施設の規則の遵守	規則の意図を理解し、実習生として必要な行動規範を身につけている。	不用意なミスなどもあるが、概ね規則を理解し遵守できる。	規則は理解しているが、守るためには促しが必要。リハ部門の問題になり得る。	規則を理解できず、守ることができない。施設全体の問題になり得る。
2	時間的観念と責任ある行動	提出物は期日を守り、時間の遵守も問題ない。常に事前に行動できる。	提出物が遅れることもあるが、時間の遵守は概ね十分である。	提出物を期日までできないことが多く、時間の遵守も不十分で頻回な指導が必要。	提出物を期日内に提出できない。無自覚で日常の中の時間の遵守ができない。
3	向上心の発揮	適切に質問したり、自ら課題をみつけ意欲的に自己学習することができる。	質問をするが、やや積極性に乏しい。自己学習は行いが浅い。	促さないと質問が無い。自己学習は喚起した内容だけ行う。	質問もなく、自己学習も行わない。学ぶ意欲に疑問を持ってしまう。
4	整理整頓	毎日、主体的に行っている。	ほぼ毎日、主体的に行っている。	ある程度は行いが、主体的とは言えず促しが必要。	整理整頓ができず、ほとんど行えない。
5	医療人としての身だしなみ(髪型、化粧(髭)、服装、衛生面)	4つすべてが適切である。	どれか1つが不十分である。	どれか2つ以上が不十分で配慮が欠ける。	3つ以上が不十分で不快感を与えてしまう。
6	対象者への態度	配慮も十分で、状況に応じた適切な態度や言葉遣いをとることができる。	態度や言葉遣いが不適切になることもあるが、概ね問題なく接することができる。	場面に応じた態度や言葉遣いができず、対象者に不安を与える。	一方的な態度をとることが多く適切性に欠ける。敬語も使えない。対象者に不快感を与える。
7	職員との人間関係(挨拶を含む)	常に、積極的に関わり柔軟なコミュニケーションができる。	やや積極性に乏しいが、良好な関係を保つことができる。	挨拶も少なく、自ら関係性を保つ意識が乏しい。	必要な場合でも自ら行動することが少なく、良好な関係を保つことができない。